

事務事業名		大船渡市観光物産協会運営支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業		
	施策名	2:3: 豊かな地域資源を活用した観光の振興							
	基本事業名	0:1: 観光客の誘致と観光宣伝の充実							
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 07 01 04 10		
所 属	部課名	商工観光部 商工観光物産課							
	係 名	観光係	電話 内線	114					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市観光物産協会は、大船渡市の観光事業、物産事業の振興を図り、地域産業並びに文化の発展に寄与する目的で設立された組織で、以下の事業などを実施している。(申請に基づいて補助金を交付している。) ・観光誘客の促進 五葉山ツツジ観賞会及びシャクナゲ観賞会の開催、 檜の里・大船渡PR事業、各種イベントへの協賛・支援、広告宣伝事業、ホームページの開設(物産販売) ・物産販路拡大(各種物産展への出展) ・観光客受入態勢の整備(観光物産関係者の指導・研修) 「もてなしの心」向上研修会の開催。客船寄港時における観光案内及び物産コーナーの設置。 ・業務受託事業(別途業務委託料を支出) 観光案内所の開設、青少年キャンプ場管理運営、海水浴場監視、観光施設利用促進					全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア	補助金の額 千円
補助金交付申請書を受理し、事業計画及び予算の内容等を審査した上で補助金を交付している。		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度実績と同様。			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大船渡市観光物産協会		名称 単位	
		カ	歳入決算額 千円
		キ	協会会員数 人
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大船渡市観光物産協会事業の円滑な運営が支援される。		名称 単位	
		サ	協会が関わった事業の数 件
		シ	補助率(補助金額 / 収入決算額) %
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・市外の観光客等に大船渡市を訪れてもらう(訪れたいと思ってもらう。再び訪れてもらう)。			
・大船渡市の魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業内訳	単位						
	国庫支出金	千 円						
	都道府県支出金	千 円						
	地方債	千 円						
	その他	千 円						
	一般財源	千 円	10,000	11,000	11,000	10,872	11,000	11,000
	事業費計 (A)	千 円	10,000	11,000	11,000	10,872	11,000	11,000
	人件費	人	1	1	1	1	1	1
	正規職員従事人数	時 間	8	8	8	8	8	8
	延べ業務時間	千 円	32	32	32	32	32	32
	人件費計 (B)	千 円	10,032	11,032	11,032	10,904	11,032	11,032
トータルコスト(A)+(B)		千 円	10,032	11,032	11,032	10,904	11,032	11,032
活動指標	ア	千円	10,000	11,000	11,000	10,872	11,000	11,000
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	千円	28,442	25,377	27,086	32,234	32,234	32,368
	キ	人	388	383	388	383	381	378
	ク							
成果指標	サ	件	48	40	46	47	47	47
	シ	%	38.7	36.8	35.1	35.7	34.1	34.0
	ス							

事務事業ID	0451	事務事業名	大船渡市観光物産協会運営支援事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

大船渡市観光物産協会(大船渡市観光協会)の設立(昭和28年8月10日)時と思われる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・観光資源が市内に散在し、観光客のニーズが多様化しているが、受入態勢が整わず、通過型の観光となっており、入込観光客数が減少している。

・事務局を観光物産課(商工観光課)内に置いていたが、平成15年5月に独立した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 観光事業及び物産事業の振興を図っている大船渡市観光物産協会の運営を支援することは、豊かな地域資源を活用した観光の振興を推進している市の政策に直結するものである。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市の政策に直結する事業であり、収益事業の拡大を図りつつも、税金の投入が必要である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 公共的団体で、行政や経済産業団体が構成員となり、市内の観光物産事業の振興を図っている大船渡市観光物産協会への支援であり、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 収益事業の拡大によって、投入する税金の額を圧縮する。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 観光・物産振興に係る業務委託の総合的な受け皿となっており、休止・廃止した場合、業務委託事務が煩雑になる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 業務内容が多岐にわたり、類似業務はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 収益事業の拡大による自主財源の増加によっては削減が可能。 ただし、現行の職員体制では思うような成果は出でらず、削減は困難。職員体制の改善が求められている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 補助金申請の審査等、必要最小限の事務である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公共的団体で、行政や経済産業団体が構成員となっている大船渡市観光物産協会への支援であることから公平・公正なものである。

事務事業ID	0451	事務事業名	大船渡市観光物産協会運営支援事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 協会職員は事務局長1名(非常勤)・書記1名(正職員)・臨時職員1名を雇用して各種事業に対応している。 市が直接実施している業務のうち、協会への委託が妥当ではないかと思われるものもあるが、受入体制の整備が課題となっていて、具体的な検討には入っていない。 収益事業の拡大等によって、補助金額の削減及び事業運営体制の確立が可能になると思われる。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 収益事業の拡大等によって、補助金額の削減及び事業運営体制の確立が可能になると思われる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 効果的な収益事業を検討・実施する体制ができていない。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。																				
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 観光物産協会の収益事業の拡大と体制について、検討を進める。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
